



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢崎 登

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 鈴木 聡

TEL 03-5437-2311

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,765	△0.4	927	△52.9	963	△61.6	621	△59.3
26年3月期第3四半期	16,837	△0.6	1,969	△26.8	2,510	△6.5	1,528	△2.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 770百万円 (△53.0%) 26年3月期第3四半期 1,638百万円 (7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	6.66	6.64
26年3月期第3四半期	16.38	16.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	28,495	14,512	50.6	154.60
26年3月期	26,038	14,201	54.3	151.41

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,429百万円 26年3月期 14,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	17.5	3,000	19.0	3,000	△3.9	1,800	1.4	19.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	93,481,700 株	26年3月期	93,481,700 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	147,901 株	26年3月期	139,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	93,338,758 株	26年3月期3Q	93,322,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「(1)経営成績に関する説明」及びP. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げの影響による消費者マインドの冷え込みからの回復が遅れ個人消費などに弱さがみられました。しかしながら、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、海外景気の下振れ懸念は依然として残るものの、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような経済環境の下で当社は、「ものづくりを通じて信頼のある技術と品質をお客様に提供し豊かな未来を拓いていく」との経営理念を掲げ、グループの司令塔として戦略的手法を駆使して推進いたしました、経営資源の選択と集中による自己変革を通じて、健全かつ強固な経営基盤を着実に構築し事業を拡大してまいりました。

まず、電子機器事業におきましては、若年層のパチンコ離れによるファンの高齢化現象等による遊技参加人口の急速な減少傾向や低価格営業の頭打ちに加え、消費税率引き上げが個人消費に引き続き影を落とす中で、全日遊連の調査によると、パチンコ機及び回胴式遊技機をあわせた遊技機総台数自体が2年10ヵ月ぶり（平成26年9月末現在）に420万台を割り込むなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下で当社電子機器事業は、OEM先顧客との強固な信頼関係を基礎としつつ、自社ブランド製品の充実及び開発体制の強化のための優秀な中堅・若手技術者の採用及び教育、NFC対応ICカードリーダー/ライタ等の新製品の拡販、部門横断的な製品販売戦略の積極的な推進と製品コスト削減をクルマの両輪とした営業活動、等を展開すると共に、平成28年3月期の市場投入を目標としております自律走行システム「I-GINS」の全世界市場を対象としたプロモーション活動の推進、ユニット、紙幣搬送システム等の新製品の開発にも粘り強く取り組んでおります。

他方、スポーツ事業におきましては、ゴルフクラブを中心に続く小売段階での過剰な価格競争に加え、消費増税や天候不順の悪影響による需要回復の遅れもあいまって、ゴルフ用品ビジネス全体の収益性が悪化傾向にあります。当社グループにおきましても、国内においては総合ゴルフ用品メーカーである連結子会社キャスコ(株)の業績が前年対比でマイナスに推移しており、海外におけるカーボンシャフト事業につきましても、引き続きOEMビジネスの拡大に加え、PGAツアー等でのUSTシャフト使用率の向上などのブランド認知を高めるための諸施策への粘り強い取り組み等が一定の成果を上げつつあるものの、厳しい業績が続いております。この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は167億65百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は9億27百万円（前年同期比52.9%減）、経常利益は9億63百万円（前年同期比61.6%減）、四半期純利益は6億21百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(電子機器事業セグメント)

電子機器事業セグメントは、主力のOEMビジネスにおいて、改正消費税率対応製品の市場投入、特殊島対応に強みをもった当社紙幣搬送システムへの需要増加、5インチメダル貸機の販売開始等が売上を牽引し、新たにNFC対応ICカードリーダー/ライタや液晶タッチパネル式の新型小型券売機といった新製品の発売と足並みを揃えて展示会出展をはじめとする積極的なマーケティング展開を図ったものの、年度前半におけるOEM製品の売上減少による減益を補うまでには至らず、前年同期と比較して増収減益となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は122億1百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は10億65百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

(スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業セグメントは、連結子会社キャスコ(株)によるゴルフ用品事業において、国内市場に関しては、第2四半期に「Silky Fit（シルキーフィット）」グローブ、「KLENOT（クレノ）」シリーズボールの新製品、そしてクラブでは新製品「TARO（タロー）」の発売があったものの、当第3四半期は昨年対比で販売が伸び悩みました。また海外市場においては、中国市場でのフルセットクラブ販売の減少に伴い、利益面では厳しい状況となっております。

他方、海外市場におけるカーボンシャフト事業に関しては、第2四半期に引き続き「Recoil（リコイル）」及び「Elements Chrome（エレメンツクロム）」に対する関心が高い一方で、カーボン素材（プリプレグ）の価格上昇リスクの存在や市場における価格競争の激化あるいはバングラデシュの政情不安など、事業環境は依然として厳しさを増しております。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は44億66百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は2億8百万円（前年同期は78百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は284億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億57百万円増加いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少5億1百万円及び商品及び製品の減少3億円等があったものの、有形固定資産の増加15億47百万円及び長期貸付金の増加11億78百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は139億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億46百万円増加いたしました。これは主として支払手形及び買掛金の減少10億97百万円等があったものの、長期借入金の増加31億22百万円等があったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は145億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加1億54百万円及びその他有価証券評価差額金の増加89百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の連結業績は、主として電子機器事業におけるOEM製品の売上低迷により第2四半期までは非常に厳しい状況でしたが、新製品の市場投入等により持ち直し傾向にあり、現在、今後の動向を見極める作業を進めております。

したがって、連結業績予想および配当予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、連結業績予想等を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,437,667	8,451,659
受取手形及び売掛金	6,609,191	6,107,707
商品及び製品	1,912,199	1,611,820
仕掛品	355,298	375,541
原材料及び貯蔵品	965,940	996,573
繰延税金資産	130,529	166,757
その他	137,566	471,883
貸倒引当金	△20,982	△13,263
流動資産合計	18,527,411	18,168,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,396,980	1,663,851
機械装置及び運搬具(純額)	284,327	281,778
工具、器具及び備品(純額)	94,241	97,310
土地	1,326,839	2,568,093
リース資産(純額)	7,324	5,379
建設仮勘定	34,706	75,401
有形固定資産合計	3,144,419	4,691,813
無形固定資産		
のれん	871,745	775,068
その他	236,535	248,965
無形固定資産合計	1,108,280	1,024,034
投資その他の資産		
投資有価証券	2,546,023	2,742,734
長期貸付金	65,501	1,243,997
繰延税金資産	209,258	159,047
その他	515,364	540,621
貸倒引当金	△78,010	△75,469
投資その他の資産合計	3,258,137	4,610,930
固定資産合計	7,510,838	10,326,777
資産合計	26,038,249	28,495,456

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,320,622	3,222,725
1年内償還予定の社債	-	300,000
1年内返済予定の長期借入金	897,104	1,208,532
短期借入金	2,700,000	2,774,500
未払法人税等	705,529	180,987
賞与引当金	113,427	44,069
その他	641,936	784,976
流動負債合計	9,378,619	8,515,790
固定負債		
社債	550,000	750,000
長期借入金	873,049	3,684,167
繰延税金負債	56,008	56,001
役員退職慰労引当金	54,494	61,774
退職給付に係る負債	579,164	609,362
資産除去債務	34,272	34,607
その他	310,816	271,658
固定負債合計	2,457,804	5,467,570
負債合計	11,836,424	13,983,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	9,780,052	9,935,052
自己株式	△21,661	△23,556
株主資本合計	13,717,138	13,870,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,600	165,905
為替換算調整勘定	378,469	414,815
退職給付に係る調整累計額	△39,306	△21,637
その他の包括利益累計額合計	415,763	559,083
新株予約権	27,466	36,220
少数株主持分	41,456	46,547
純資産合計	14,201,824	14,512,094
負債純資産合計	26,038,249	28,495,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	16,837,079	16,765,034
売上原価	11,362,854	12,208,169
売上総利益	5,474,224	4,556,865
販売費及び一般管理費	3,505,177	3,629,821
営業利益	1,969,047	927,043
営業外収益		
受取利息	2,420	7,889
受取配当金	25,704	25,734
貸倒引当金戻入額	348,333	-
為替差益	175,904	49,765
固定資産賃貸料	15,227	14,586
その他	50,138	31,727
営業外収益合計	617,729	129,701
営業外費用		
支払利息	44,666	58,501
固定資産賃貸費用	11,250	11,250
その他	20,684	23,937
営業外費用合計	76,600	93,689
経常利益	2,510,176	963,055
特別利益		
固定資産売却益	22	3,611
特別利益合計	22	3,611
特別損失		
固定資産除売却損	8,621	315
投資有価証券評価損	9,999	-
特別退職金	12,598	-
その他	23,116	-
特別損失合計	54,336	315
税金等調整前四半期純利益	2,455,862	966,351
法人税、住民税及び事業税	843,813	382,844
法人税等調整額	63,254	△43,567
法人税等合計	907,068	339,276
少数株主損益調整前四半期純利益	1,548,794	627,075
少数株主利益	20,358	5,365
四半期純利益	1,528,435	621,710

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,548,794	627,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,714	89,304
為替換算調整勘定	62,815	35,918
退職給付に係る調整額	-	17,822
その他の包括利益合計	89,529	143,045
四半期包括利益	1,638,324	770,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,621,151	765,030
少数株主に係る四半期包括利益	17,172	5,091

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。